

【ねがいましては】

第52号

平成5年2月27日
共和珠算学習塾

「1200万人」

・・・この数字の意味するもの、2月23日付の読売新聞の編集手帳に「ハッ」とする数字が載っていました。

この数字、実は年間にこの地球上で失われていく幼い子どもたちの数字です。

子どもたちと接する仕事に就く私としては、是非子どもたちには知っておいてもらいたい数字です。一部分の生徒さんには、このことをお話ししました。そしてもう一つの数字、ひとり1円で9万6千人。これは、もし私たち日本人が全員1円ずつ失われていく命のために役立てた時に助かる命の数です。日本は今、約1億2千万人、つまり1億2千万円。1千万円を予防接種に使うと約8千人の命が救えるそうです。つまり12倍して9万6千人です。では、10円ずつ役立てたら96万人、100円なら960万人という具合です。その日のお話の終わりは、みんなが毎日の生活の中で無駄にしていること、朝食、給食、夕食やいろいろなもの、もし少しでも残しているのなら、それをお金に変えたら、ひょっとしたら10円？20円？それとも100円？・・・毎日たくさんのお金を無駄に使っているのなら、ひょっとして、はじめから食べられる分だけをきちっと食べて、少しでもその分をお金で残したら、何人の子どもたちを助けられるかな？ということでした。

私自身、寄付の経験はあまりありませんが、とにかく自分のほんの身のまわりのことだけに集中しがちな時（お母さんなら、お子さんの成績のことばかり？）、世界に目を向けて教えてあげるのも、私たちの大切な仕事のように感じました。

このようなお話、ご家庭でも団らんの時できるのではないのでしょうか。親子で新聞を広げて語りあう温かい姿が目に見えます。

子どもたちの世界共通の姿・・・遊びの名人、笑いの名人、明るさの名人であってほしいものです。

☆3月の予定

6日（土） 珠算・暗算検定試験申し込み締め切り

18日（木） 珠算（4～10級）・暗算（1～6級）検定試験→共和珠算塾

21日（日） 珠算（段～3級）検定試験→中央商業高校

春休みの予定は別にお知らせします

お知らせ

○多くの各学習塾のチラシが目立つ季節になりました。当教室におきましても少人数制による、小学→算数・国語、中学→数学・英語・国・社・理（最近5科になってしまいました）一斉授業は殆どなく、専用教材・全国共通テスト等取り入れております。また、また、「考える学習を進める塾ネットワーク」に加盟し、地域の寺子屋をめざし活動しております。（全国5301塾）

○また、現在進行中ですが、私自身の身勝手な考えですが、本来の望ましい学習の在り方は、家庭内で親子がむつまじく楽しく学習する姿だと思います。とかく「もう4年生になったら難しくて見られないわ」と逃げ腰なお母さんが多く見受けられます。また、核家族化・ひとりっ子の増加などで、お一人で悩んでいらっしゃるお母さんもいます。私も教育に関してはまだまだ若輩者ですが、親たちの学習の場、話し合いの場も必要ではないかと思うようになりました。学校任せ、塾任せでは親の責任が問われるような気がします。

「勉強って楽しいんだね、お母さん」と言わせてみたいものです。そんな風景が家庭内にみられたらと思う次第です。